

関数 $y = ax^2$ (4)

関数 $y = ax^2$ の変化の割合

変化の割合は次の式で求められる。(変化の割合) = $\frac{(y \text{ の増加量})}{(x \text{ の増加量})}$

変化の割合はグラフ上の2点を結ぶ直線の傾きに等しい。

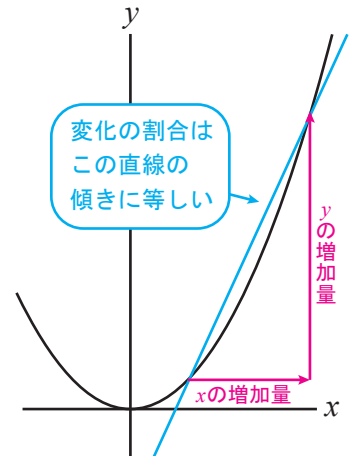
関数 $y = ax^2$ の変化の割合は関数 $y = ax$ の場合と違って一定ではない。

平均の速さ

斜面を転がるボールなどの x 秒間に進む距離を y m とすると、

平均の速さは、 $\frac{(\text{進んだ距離})}{(\text{進んだ時間})}$ (m/s) である。

$y = ax^2$ が成り立つとき、平均の速さは変化の割合に等しい。



【1】関数 $y = 3x^2$ について、 x の値が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

(1) 1 から 3 まで

$$x = 1 \text{ のとき } y = 3, x = 3 \text{ のとき } y = 27$$

$$\text{変化の割合は } \frac{27-3}{3-1} = 12$$

答え 12

(2) -5 から -2 まで

$$x = -5 \text{ のとき } y = 75, x = -2 \text{ のとき } y = 12$$

$$\text{変化の割合は } \frac{12-75}{-2-(-5)} = -21$$

答え -21

【2】関数 $y = -2x^2$ について、 x の値が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

(1) -3 から -1 まで

$$x = -3 \text{ のとき } y = -18, x = -1 \text{ のとき } y = -2$$

$$\text{変化の割合は } \frac{-2-(-18)}{-1-(-3)} = 8$$

答え 8

(2) 4 から 7 まで

$$x = 4 \text{ のとき } y = -32, x = 7 \text{ のとき } y = -98$$

$$\text{変化の割合は } \frac{-98-(-32)}{7-4} = -22$$

答え -22

【3】ボールが斜面を転がり始めてから、 x 秒間に進む距離を y m とすると、 $y = 2x^2$ の関係が成り立った。次の問いに答えなさい。

(1) 下の表を完成させなさい。

x (秒)	0	1	2	3	4	5	6
y (m)	0	2	8	18	32	50	72

(2) 1 秒間ごとの平均の速さを、転がり始めてから、4 秒後までについて求めなさい。

0 秒後～1 秒後 2 m/s

平均の速さは $\frac{(\text{進んだ距離})}{(\text{進んだ時間})}$ (m/s) だから、

1 秒後～2 秒後 6 m/s

0 秒後～1 秒後 $\frac{2-0}{1-0} = 2$ (m/s) 2 秒後～3 秒後 $\frac{18-8}{3-2} = 10$ (m/s) 2 秒後～3 秒後 10 m/s

1 秒後～2 秒後 $\frac{8-2}{2-1} = 6$ (m/s) 3 秒後～4 秒後 $\frac{32-18}{4-3} = 14$ (m/s) 3 秒後～4 秒後 14 m/s

